

「キャリーカップ」

(株)ミヤゲン (敦賀市)

平成29～30年度 新市場創造型標準化制度

問合せ担当者 雲竜常宗



背景と経緯

(株)ミヤゲンで開発された、カップコーヒーなどのテイクアウト専用のキャリー袋は、カップ挿入時の利便性、運搬時の安定性および環境配慮に優れていて、国内のコンビニエンスストア業界などで好評を得ています。そこで、他の流通業界への拡大と世界展開を視野に入れ、経済産業省の「新市場創造型標準化制度」を活用して、一般財団法人日本規格協会、国立研究開発法人産業技術総合研究所、(株)ミヤゲン、福井県工業技術センターが共同で、キャリー袋の持ち運び安定性を判断するための試験方法の検証と標準化に取り組みました。

成果と製品化の状況

産業技術総合研究所がキャリー袋を持って歩いた時の人の手の動きを、上下方向および水平方向について様々な条件で精密に計測し、持ち運び安定性試験の加振条件を検討しました。その条件をもとに加振試験機を試作し、福井県工業技術センターで検証試験を行いました。その結果、(株)ミヤゲンが開発したキャリー袋は他社の類似品と比較して非常に優れた安定性が証明されました。この結果をもとに、JIS原案を作成し、平成31年3月にJIS Z 1718「ポリエチレンフィルム製キャリー袋」が制定されました。今後は、持ち運び安定性が優れ環境に配慮したキャリーカップのPRを積極的に行い、販路を拡大していきます。



加振試験の様子